

2日前から俳風ダクト工事があったようで…。煙突とは繋がっていなかったように見えましたが、これは防音対策の工事ですね？

正直な感想ですが、外に出て聞く音は以前は高い音、低い音などがまじる三重奏のような感じの騒音でしたが、よ〜く聞いてみると高い音が減った？かな……？

逆に低い音が耳につくようになった？かな？

正直…。??にしか今のところ感じられません。

いずれにせよ、正直騒音値に明らかに大きな変化があったとは私は感じられません。

家のなかでもこの「ぶ〜ん、ポワ〜ん」という音がずっと聞こえますし、目がまわる感覚も治りませんし、吐き気も治りません。

いつも思うのですが、今までの工事もそうですが、色々と三恵さんも対策を考えての工事を実施されていると思うのですが、なぜか結果が伴ってはおらず、毎回残念だなと思うばかりです。

結果が出てない以上、これで終わりにしていただいては困ります。

後、悪臭ですね。今月は11日と18日が特にひどかったです。11日は朝子供が登園するのに玄関を出てすぐに「バイオマスくさいわ」と特に敏感な次男が怒りだし、長男は「何か花火が燃えた後みたいなおいやな」と感じたそうです。

私も感じるのですが、やっぱり化学物質的な何かやにおいを子供は敏感に感じております。

18日ですが、あの日は朝からすごく風が強く、私も子供も体調が悪く、ずっと咳が続いており、次男は保育園を休みました。

長男が玄関を出ましたが3歩出たところでバックして玄関のなかに戻ってきてしまい、急いで扉を閉め発した言葉が「お母さん、今日はほんまにアカンわ、いつもはまだ我慢するけど、今日はアカン、ほんまに外に出れんわ、どうやって車まで行けばいいん？」

と真剣な顔で聞いてきました。そして体調の悪い次男が玄関まで見送りについてきていたので、「外出たらアカンで、めっちゃくさいからほんまにアカンで！はよなか入るとき！」

と長男が次男に声をかけました。外は本当にひどい臭いが強風によって横から吹きつけてくる状態で、最悪でした。

長男は息を止めて車まで走り保育園に行きましたが、こんな生活やっぱり普通じゃないです。

私も気分が悪くなり、次男を連れてその日はまた家から離れましたが、昼過ぎに帰ってきてもまだ悪臭が漂っており、「何でこんな思いをしないといけないのか…」と怒りと悲しい気持ちでいっぱいでしたし、何より本当にガンになったりしないか、とか、他の病気になったりしないかとか不安しかありません。

このにおいは本当に「大気汚染」にしか感じられません。外に出られないとか、身体がおかしくなるとか、やっぱり普通ではないです。

自分や子供達が発電所からの悪臭を感じる度に、何を吸っているのか、本当に恐怖しかありません。

ばい煙測定結果部分も公表されず、大気汚染でないと言うならば、正々堂々と公表するべきであると思いますし、いつまでたっても安心できません。

私は病院に行き相談し、お医者様にいただいた診断書もありますが、このように次々と病気になる人が増えては困りますし、取り返しがつかない事が起きてからでは本当に遅いと思います。

企業の利益や秘密を優先し、住民の健康被害は後回しとか、言い方は悪くなりますがはっきり言って最低です。

行政機関のコメントなどを読んだり聞く度に「自分の部署が担当ではない」や「決定権がない」「わからない」時間ばかりが過ぎていき、全然返事がない、などなど本当にあちこちが責任のなすりつけあいをしているかのようで、行政機関の信頼性が本当にありません。

舞鶴の住民説明会で「福知山市は匂いはなかった」

と企業の説明があったようですが、いつこちらに来られてどの場所から確認されたのかわかりませんが、その日がたまたま風向きの影響などでおいがか確認できなかったのか、個人差なのかわかりませんが、このにおいは本当に私は気持ち悪いですし、くさいですし、空気は汚ないですし、身体がおかしくなります。頭痛、吐き気がすごいです。

音はずっと同じ一定の音が耳につくので、だんだんとめまいがしてきます。

発電所はまだ建ってはいません。諦めずに反対運動を続けていただきたいです。

三谷様をはじめ、推進委員の皆様、塩見様、たくさんの協力者の皆様の働きかけにいつも感謝しております。

本当にありがとうございます。